

# 家を出てより卅五年

## 1941 藤川庄一 今何處？

山口縣の母から相當の資産を擁して

本社へ涙の尋ね人依頼



家を後に三十五年、杳として消息を絶ち、其の間に父及びたつた一人の弟は死亡し、今では八十歳になる老先短い母が一人で「庄一や是非歸つて御呉れ」と我子の歸宅を待つて居ると云ふ聞くも涙の尋ね人廣告が昨日の鎌倉丸で歸米の途にある人の手に託せられ本社に届けられた。尋ね人と云ふのは山口縣玖珂郡藤河村關戸の藤川ヌイさんの長男庄一さんで本年五十三歳になる人である、廣告を依頼される人である、談によると今から約三十五年前即ち庄一さんが十八歳の頃家督は弟に譲つて呉れとの書置を残し家を去つた儘杳として消息を絶ち全く行方不明になつた、其の後風の便りで布哇に渡つた形跡ある事を聞き、現に約二十年前に布哇島ヒロで偶然逢つた人もあるとの話に或は今日も布哇の何處かに健在ではあるまいかと今回の尋ね人廣告になつたものであるとの事である、殊に郷里では父及び

弟は死亡し、今では年若い母一人が家督を相続する者もなく、相當の資産を擁して淋しく暮して居るが、庄一が生きて居るならせめて吾が子に後を継がせ度いと云のが親の願ひであるとは寔に尤もな事である、此の訃事を藤川庄一さんが讀まれたなら早速郷里の慈母に電報なり手紙なりを出される事を希望するは勿論、何人でも本人の居所を確實に郷里に知らせた人へは米金三十弗を謝禮とする事になつて居る、或は本人は變名して居る疑ひもあるが特徴として首の右側に瘰癧の痕あり、又寫真で見ると耳が特徴ある形をして居て、耳朶の中央が相當高く出で居る、寫真は十八歳頃のもので五十三歳になる今日では相當容貌が變化して居る事であらうが、又何處かに若き日の面影を残して居ると思はれる、尙ほ本人の居所は便宜上本社へ通知あれば取次ぎする

村大使の歓迎午餐會はホテル商業會議所主催にて正午ローヤル・ハワイ・ホテルで催されたが、司會で起つた野村大の「余は一介のセーラーの、デポロマツトでは

ない、けれどもアメリカには未知でない」云々のスピーチは非常な好印象を與へた、同日の出席者はリチャードソン米艦隊司令長官、キンメル驅逐艦司令官、ブロック眞珠灣海軍司令長官、ヘロン布哇陸軍司令長官の

外、事、界、十、總、古、組、ド

# 水兵や陸兵相手に

# 大喧嘩を始め

## 目に餘る不良團の狀

### コーク大審院長

近市内に又々不良青年團、これは數字の上にも現、市郡法廷の記録では一三九年度は刑事事件取扱數は三萬三千八十六件でつたのが一九四〇年は五千四百七十六件に増加してゐる、縣大審院長ジェムス・エル・コーク氏はの事態を靜視するに忍び、として自分は直接の法律行官ではないが何かの方

法でこの事態を防止したいと昨日午後地方判事を集めて協議した、不良青年團は水兵や兵士に對してギャンブルをつくつて大喧嘩を始めることが瀕々である、又暴行殴打、禁劑密賣等も多い、コーク大審院長は從來刑罰が餘りに輕きに失する點を指摘して罰金、入牢を重くする必要があると語つてゐる

# 眞珠灣水兵運搬に

# ツラツク使用

## 公益機關委員會の對策

珠灣と市内との間の水兵搬運に就いて若し必要な場合はバス、請負師ツラツクは他の保険に加入してゐる鑑札車を使用する應急處を講ずる旨カンダスコイ益機關委員會技師が發表した、眞珠灣ツライバー組

合のメデロス氏は眞珠灣當局と水兵の運搬に關して協議したが、週日の水兵運搬は何等支障なきも、給料日及び艦隊上陸日には電鐵の援助を得てゐたと述べ、る、公益機關委員會では罷業の成行を注視して居るが

電、進、眞、中、勤、蒙、海、將、何、市

# シェフアー

ライフタイム

贈物に又は御自分の御使用に好適!

シェフアース・ライフタイム  
フエーザ・タッチ筆